

米粒

君の口元に付いた米粒を
指さして教えて笑いあつて
いつしか手で取ってあげるようになって
次第にスクショを撮って保存しだして
今は君が何を食べたか聞くようになった

僕の心にはいつだって米粒が付いてる
他の人には気づいて欲しくないから
君の前でだけマスクを外して
その優しい手でつまんでもらうんだ
だから最後の一粒を口元にする

君は先に進んでゆく
足踏みする僕はその背を眺む
今の君の口元に米粒は付いてるのかな
付けたままで仕事に行くのだろうか
米粒に気づくのは僕だけが良いんだ

雨和七瀬

同じ場所にこびり付いた米粒
もう誰にも気づいてもらえなくて
一人、同じ味わいを繰り返す
米粒の付いた口を拭うと
ちり紙に潰れた米粒がへばり付いた